

みんなの広場



砂賀 良夫さん（斗合田・64歳）



川舟の製造技術を 後世に残すために

砂賀さんは、県内でも数少ない川舟の製造技術を持つ船大工です。今回、文化庁のふるさと文化再興事業の補助を受け、板倉町伝統の水郷空間活性化委員会が砂賀さんに「田舟」「揚舟」「高瀬舟」の製作を依頼しました。

田舟は、ぬかるんだ水田で苗や肥料等を運ぶのに利用。揚舟は、洪水に悩まされた住民たちが、生命や財産を守るために軒下に吊しておいた緊急避難用の舟。高瀬舟は、かつては江戸などへの物資の輸送で活躍しました。



高瀬舟の完成予想図

東毛地域一帯の川舟造りはほとんど手がけている砂賀さんですが、工場で作る舟はほとんどが繊維強化プラスチック製、木材の田舟や揚舟等を製作するのは20数年ぶりだそうです。3月末に完成した田舟は、長さ約1.3m、幅0.8mの最も小さい部類で、半年間かけて乾燥させてきた杉材を採用して削り、1mm以下の微調整を繰り返しながら、すべて手作業で組み立てて造られました。現在は、高瀬舟の設計に入り、9月の完成を目指し忙しい日々を送っています。

砂賀さんは「技術を持つ人の高齢化や後継者の減少が進み、何年か後には舟を造ることがさらに厳しくなるだろう。今まで職人の頭の中にしかなかった技術を設計図にして後世に残したい」と話していました。

みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」の一部とその回答を掲載します。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきます。

歩行者専用の許可申請について

明和町は、板東太郎という最高のプレゼントがあり、この度の利根川堤防舗装工事の完成は、誠にありがたいと思います。私は、より良い町づくりは健康が第一だと思えます。そこで、町民の意見を聞いて歩行者専用、マラソンやサイクリング用に国土交通省に許可をお願いしたらいかがでしょうか。住民の健康づくりのために、よろしく願います。

（江口・男性）

A 健康増進のために活用されればと考えます

利根川堤防の天端舗装につ

いて、歩行者専用、マラソン、サイクリング用に許可を受けようにとの提言と受け止めをお答えいたします。

利根川堤防の天端舗装については、利根川上流河川事務所において堤防への雨水の浸透防止や砂ほり対策等を目的に管理用道路の舗装化を進めており、工事完了後には安全確保のために自動車（河川管理用車両を除く）の通行は禁止となりますので、町で占有許可を受けなくても歩行者・サイクリング等には快適な利便性が確保されますので安心して健康増進のために活用されればと考えます。

（都市建設課）

